

10月24日（火）

6年生「あいさつで地域を盛り上げよう」

総合的な学習の時間に「田布施町を盛り上げよう」をテーマに学習しています。子どもたちの中から、あいさつをすれば盛り上がるという意見が出ました。そこで、町観光協会会長の坂本 大典 様にお越しいただき、あいさつについて考えました。



はじめに、坂本会長からお話していただきました。

「あいさつは、大人になるととても大事」

「人を思いやる気持ちが大切。それがあいさつ。」

「あいさつは、笑顔で元気よく」

「あいさつにスランプなし」

～By 松村邦洋

「一番大切なあいさつは『ありがとう』と『ごめんなさい』」

一人が2枚～3枚、自分の名刺をつくりました。名刺には、会社名、役職、名前等を記入しました。



自作の名刺を、1枚は坂本会長と、残りは友達と交換しました。名刺は、「〇〇会社の△△です。」とお互いにかけて交換しました。名刺を交換する（あいさつをする）ときは、「目力」が大切だと教わりました。



最後に、子どもからあいさつをされたら大人はとてもうれしいし、地域が盛り上がるというお話をされました。あいさつは重要なコミュニケーションツールです。今後、子どもたちのあいさつに対する意識が変わることを期待しています。